

桃太郎って、ホントに桃から生まれてきたの？
 ふるさときゃらばんの描く桃太郎は、奇想天外、
 踊る鬼に歌うムラ人、出会いと命の躍動のメッセージ！
 大人と子供と一緒に楽しみ、語り合うミュージカルファンタジー



(撮影：吉野雅人)

新版・ももたろうものがたり



ものがたり

ムカシ昔あるところにお爺さんとお婆さんが住んでおりました。お爺さんは山へ柴刈りに、お婆さんは川へ洗濯に出かけました。すると川上の、鬼がすむという雲たか山の方から、ドンブラッコと大きな桃が流れて来るではありませんか：例の、桃から生まれた桃太郎のおはなしです。



桃太郎も大きく育ち、恋をする年頃になりました。ところが桃太郎が大好きなムラ長の娘が、雲たか山の鬼にさらわれてしまったのです。桃太郎と、お椀を作る木地師の次郎と、鍛冶屋の犬丸の三人は、娘をとりもどしに斧や山刀を持って雲たか山の鬼の砦に、勇気をふりしぼって出かけてゆきました。

ところが桃太郎とその仲間が雲たか山に登りついた日は、鬼たちの祭りの日でした。鬼たちは赤々とかがり火をたき、見たこともないような姿で剣を手に、あやしく舞い踊るのです。その中にさらわれた娘たちがいました。今だ！と飛び出す三人。しかし、あつという間に鬼たちにおさえつけられてしまいました。鬼に喰われるものと観念した桃太郎たちに、鬼の大将は思いもよらぬ話をします。炭焼き名人の桃太郎が鬼たちに炭の焼き方を教えてくれれば、娘を返すと言うのです。ほんとうだろうか？ そこからドラマは思い



もよらぬ展開が始まります。それがふるさやらの流のミュージカルなのです。

アンケート

今の社会で子供が清々しく育っていくのはとても難しいことです。この舞台を通して娘の心に、人を愛すること、仲間と力を合わせる事、人の役に立つように生きること、そんなことが残ったのでは。
 (女・9歳・小学3年生の母より)

メッセージ性があって小さい子供にもとても良いと思いました。これを見て様々な問題に対して少しでも心に残ればよいなと思いました。
 (男・26歳・教員)

ストーリーの中に、現代社会へのメッセージがちゃんとこめられていて、ほんとに感動しました！大人も考えさせられ、子どもも何かを感じ取る、まさにやさしいメッセージ、やさしい教育だと思いました。
 (女・36歳・アロマセラピスト)

この作品はしぜんにえがおになりました。しょうらいの自分の子どもにそんなけいされる大人になりたいです。次もみたいです。本当にみたいです。
 (女・10歳・小学4年生)



劇団ふるさときゃらばんとは 1983年創立 劇団員100名

その名の通り日本中を旅し、日本の暮らしに根ざした日本人のためのミュージカルの上演を行う劇団として発足。創立以来、上演した全国の市町村は1,000自治体を超える。2005年の日本国際博覧会「愛・地球博」で2作品のべ2ヶ月間の上演を行い、連日超満員となった。

また、その活動は国内だけではなく、日米合作ミュージカルでアメリカ各地を巡演し、その評判がヨーロッパに伝わり、バルセロナオリンピック芸術祭での上演を要請されるなど、ふるさときゃらばんの旅は国外にまで足を伸ばしている。

■ 公演実績 ■

全47都道府県 1,137自治体 東京23区478市532町104村
 上演回数4,317ステージ 観客動員417万2千人
 (2007年10月末日現在 上演時の自治体名をもとに集計)

第40回記念文化庁芸術祭賞(1985年)、第6回日本イベント大賞最優秀企画賞(1989年)、第4回スポニチ文化芸術大賞グランプリ(1996年)など数々の演劇賞を受賞。